

小鹿地域協議会だより

小鹿地域協議会（令和元年五月）

大規模地震に注意

バンビセンターの体育館

三朝町が行った「耐震診断調査」の結果、バンビセンターの体育館が、大規模地震が発生した場合、「倒壊または崩壊する危険性がある」という判定が示されました。会議室側については、「倒壊等の可能性は低い」という結果でした。

体育館は、大規模な地震に対する注意喚起の張り紙を建物にはり、当面の間、十分に注意していただきながら、利用していただくことになりました。

今後は、令和元年度に東小空き校舎の活用も視野に入れながら耐震への取組が検討されます。

なお、バンビセンターが担っている災害時の避難所としての機能は、本館部分（会議室側）で対応されます。体育館を利用される時は、大規模な地震に十分に注意しましょう。



児童 43 人が元気に校歌を合唱

東小中学校閉校式

東小中学校閉校式が、三月二十三日、同校体育館で開催され、昭和四十八年の同校発足以来五十年間の長い歴史に幕を閉じました。

東小中学校は、昭和四十八年に小鹿小学校と三徳小学校が統合して誕生。これまでに、千五百七十七人の児童が同校で学び、小鹿・三徳になくってはならない学校として、地域の皆さんに愛されてきました。閉校式では、教育委員会が閉校の告示をした後、同校の校旗が返納され、児童代表のお別れの言葉などで、同校に感謝の気持ちを伝え、お別れを告げました。

続いて行われた「創立五十周年記念式典」では、児童四十三人全員が、この日を目指して練習を積み重ねてきた「東小太鼓」を披露。会場に集まった大勢の参加者から盛大な拍手が送られました。

小鹿・三徳地域協議会連絡会

「小鹿・三徳地域協議会連絡会」が三月三十日にバンビセンターで開催され、両協議会の役員等約三十人が出席。二つの協議会に共通する課題や懸案事項について、活発に意見交換を行いました。

当日は、まず「児童数三百六人で、新しい三朝小学校を開校します」と西田教育長が説明。続いては、「東小中学校の活用方法については、地元の意見をお聞きしながら、地域の振興につながるような利用を目指したい」という報告が行われました。

次に、「(仮称)東小中学校区大運動会の開催について」では、今後、小鹿・三徳の両地域で協議しながら、地域の住民がともに集えるような催しを目指すことが確認されました。また、道路問題では「片柴橋の改良促進と坂本バイパスの早期完成について」、いずれも車両の安全な通行に不可欠な重要な路線なので、早期の事業着手を目指して努力したいと、鳥取県の担当課長が説明されました。

町議会の報告会

今年度の「第一回議会報告会」が五月二十四日（金）午後七時から、バンビセンターで開催されます。

当日は、六人の町議会議員が出席。三月定例町議会の報告や出席者との意見交換が行われます。意見交換の内容は「小鹿地区の振興に関わる町予算について」など。皆さんがお気軽にご参加ください。

